(-)

一、十六日○○機よりなる編 を興へ、更に外の一編隊は が周邊陣地に據る敵集團及 が周邊陣地に據る敵集團及 が軍事施設を爆撃、他の大 が中に打ち込み甚大なる打撃 中に打ち込み甚大なる打撃 中に打ち込み甚大なる打撃 を興へ、更に外の一編隊は が車事施設を爆撃、他の大

第三陣部隊は前二回の爆撃 大火災を起しための大爆撃を敢 たまつて収拾すべからざる 現御に至る冷水舗、り大火災 を地した が出した を第二陣部隊は安陸對岸よ り期間に至る冷水舗、砂石 りが、異家集、油匠崗、王家 集等各部落に集結中の敵密 大火災 を地しための大爆撃を敢 が、異家集、油匠崗、王家 は、異家集、油匠崗、王家 は、異家集、油匠崗、王家

部隊は十九日午後四時半行動際、富澤各部隊並びに原快足が、富澤各部隊がに原快足

| 敵戰闘機群

敵三千を撃滅 清河鎭西方地區 山村岡、浦仲、佐瀬、大浦の各部隊は敵の機先を制し去る比結中にして一帶の都市、部落は敵集結部隊で充滿して居り、

b 六日より

、各據點の軍事施設を木ツ葉微塵に粉碎され職意を全く喪失、傑刻なる動搖、日より廿九日まで四十回大擧反覆出動してこれに徹底的猛爆撃を加へた、敵が○○基地の陸鷹村谷、下田、秋山、前島、鈴木、山下、山田、木村、堀川

の潰滅戦に推定損傷一萬に上る大打撃を受けたほか、作、佐瀬、大浦の各部隊は敵の機先を制し去る廿六日

る動

刀して同日拂曉由來南方天子力して同日拂曉由來南方天子一次に過入した、また高橋部

附近に韓居す

る約二百の敵

る空戦記錄

く南鄭大空中戦

概紀男氏(日本水産會社) 阿斯貞清氏(勞工協會) 同

小次郎氏 (官吏) 中岛(醫師)同

久二氏 (黑涧省次長)

比類なき

(太靜夫氏 (大同生藥工業

英之助氏(滿鐵社員

輝幸氏(黒河省農事合

陽間の所要時間一時間を短縮橋の完成によつて漢ロ=信意人を使役し、延日敷六十六萬人を使役し、延日敷六十六萬人を使役し、延日敷六十六萬人を使役し、延日敷六十六萬人を使役し、延日敷六十六十六十六十六十六十六 閉通式典を擧行した、同鐵橋はられた式場において晴れの後六時十分より北側河畔に設 延人員八千人、支那人々夫は全長三百米、着工以來將 のとみられてゐる

移した汪精衛は、更に先日審事件以來、ハノイ某所に居を【ハノイ卅日發國通】曾仲鳴 移した汪精衛は、 汪精衛隱家 佛印南部に移動 鱧を残して西京撃々砕し、敵な

また南昌南方にあった約二 た胡庄附近の丘に遭ひ墳溪市附

丘 マに滞在、イタリー空軍盲腦 が ラウヒッチュ將軍は對日ロー が シよりローマに到着した、ブラウヒッチュ將軍は廿九日夕ベルリ の ラウヒッチュ將軍は對日ロー ローマ 獨陸軍總司令

源田濱江省大長 電子の所開係者多數の見送り 車で政府開係者多數の見送り 車で政府開係者多數の見送り

▲渡邊光明氏〈滿洲開發會社

は南昌南方州敷キョの線に は表面最近健康勝れず靜養の地に対いたこと判明した。右、保護の下に陸路佛印南部の某保護の下に陸路佛印南部の某 季辞中にして、敵 2.ないて 変熱、 南島の ないて 変動する 山南蠢動の敵

江嶺、米峰一世 である 敵は多数の遺棄死一帶の敵集團を猛 物西南方二キロ上 から、十九の兩日 図 の約七百の敵も皇軍の痛撃を の 受けて全滅し去つたが、わが 軍は破竹の勢をもつてなほも 西南に向けて猛進撃を續けて ある

割

要視され

各所で殲滅的大打撃 し重要協議を遂げる 伊兩國陸軍の協力に關 ーマ訪問は重

往來

ためと言はれてゐるが、事實 に至つたので當局と合議の上 は近頃頓に蔣政權側不逞分子 當分難を避けたもので避難先 の潜入があり佛印當局日夜の は佛印交趾支那の小都市と見

の大御

劇

越

尿明治座

特 々生氏 選 藝 題

戶英 杉三湯

河合武雄十種內

第三假名屋小梅 清元美都 元 Ξ

河東深岡渡松松村下西蜂中武武高濱高河河都 幹 合日川田邊本本田 須江田 島野梨合合築 部 武田津公等代次式 舞徹正 太喜儀二明女連 雄子子子子枝郎部猛滋之也憲新郎緒堂郎石男名

を開始し、劉昌義の島協軍も 参加して清河鎮北方四キロの 地酷に據る第四十軍の敵三千 を包閣攻撃し激戦四時間の後 全滅的打撃を與へ西北方に潰 で世しめた、敵遺棄死體三百 で出土二、捕虜十七、その出軍

とわが鈴木部隊との間に行は れた空中戦は世界〇〇機戦闘 中戦であつた、即ち外村編隊 中戦であった、即ち外村編隊 が出發した〇〇基集南が開〇 が出發した〇〇基集南が開〇 が出發した〇〇基集

蹄德室中戦が遭遇戦で 敷の比例をも凌駕、加 歌の作つた敵機数と

ある状態において敵の牛敷に い 及ぶ十一機を撃墜し、われは と空中部隊の敢然死地に入る と空中部隊の敢然死地に入る と空中部隊の敢然死地に入る と空中部隊の敢然死地に入る と空中部隊の立軍に對して一大 なと生事でよるものとして極め で生目される

大空中戦におい

の銃撃に、さしもの数

さしもの敵編歐機

追つて再び肉郷、狙

狙ひ撃つた

命中、機體を大きくぐらつか機銃弾は見事敵機エンジンに

悪氣流を

イロットは悉く

ラシュ・

飛出した者がある、憎い敵機 長はわれとわが機を落ちて行長た、卑怯なとばかり本田曹

三味線

唄

3

京漢線獅子河 大鐵橋竣成

バラシュー

分捕って歸還

騎打

教一千の包閣全滅戦を取行、 を前八時麻城を進發した有力 部隊は白宋西側陣地に據る約 た一部隊は中館驛より大迂廻 た一部隊は中館驛より大迂廻

(日 曜 火)

機能に相呼應した小

小川部隊は江南の剿

京漢線獅子河の大鐵橋へ信陽の工完膚なきまでに爆破したって完膚なきまでに爆破した

日午後零時二十分南郷大空中 助 日午後零時二十分南郷大空中 「職に大職果を收め、昂然○○ 基地に歸還した○機の中に、 大職是と関白な布をつけ、 大職では、 大職の中に、 大職でいる。 大職の中に、 大衛の中に、 大衛の中に、

行場東南上空 るや敵編録

電軍の襲撃と見

敵編隊群を認

て敵編隊を追ひ撃ち、

ひ、この兩機支けは反轉、橫擊墜して更らに残る編隊に向

曹長の放れ業

放れ業だ、かくて本田機は選を散つた南郷少佐その儘の

大鐵路學校長、新京龍」、新京着率天より

觀覧料金五圓

均

語

b

賣

圓

五

錢

敵機長はもんどり打つて墜ちんだ、忽ち切れ飛んだ案僚に

、 僚機はすべたが小癪にも

韓の秘術の限りを盡して全くの一騎打ちとなつたが、大窓上の死闘二十分、勝負は未だつかない「小癪な!」といら

◆ 禁田一雄氏 三十日大連へ ◆ 赤秋信一氏 吉林へ ◆ 高津宏氏 吉林へ ◆ 高津宏氏 吉林へ ・ 本所藤吉氏 幸天へ ・ 本所藤吉氏 幸天へ ・ 本子へ ・ 本子へ ・ 本子へ ・ 本子へ ・ 本子へ ・ 本子へ

本、各種預金の受入
へ、手形の取立て
ト、保護預り
ト、保護預り
ト、保護預り
ト、保護預り
ト、保護預り
た、保護預り
た、保護預り
た、保護預り
た、保護預り
た、保護預り
た、保護預り
た、保護預り
た、保護預り
たい、保護預しのでもこれの関連事務についてもこれの関連事務についてもこれを取扱び得る規程となってある

華興商業銀行

ふ 創立總會

資本金五千萬圓

連絡

部長官語

3

△出資內譯

候維新政府二千五

双資を禁止されてる は定駄において斯の は定駄において斯の は定駄に方店を 内譯は上海に支店を

の内容は左の如くである。

政の基礎强化された政の基礎强化された

基ではないか 変にこつちの方で言ひたい言

滿鐵社員俱樂部

二日間)

五月七六 賣 販 お徳用な前賣をお早くお求め下さ ツケギヤラリ 日日 鐵社員俱樂 百 五時開幕

時れたり空よ、時は五月、時れたり空よ、時は五月、

Z

On.

日本から、北支から、

興亜の熟意

中央同小澤壽雄、四道有同中央同小澤壽雄、四道有同陳楓 同陳楓 同聚文選、寬城子 同陳楓 同聚文選、寬城子 同陳楓 京三葉組合長鎌田漁吉、大新 原三葉組合長郷田漁吉、大新

の大元締滿州帝國體育聯盟で 展げられてゐるが、スポーツ

の繪卷がつぎつぎに繰り の繪卷がつぎつぎに繰り を補各地では各種運動競

審議決定して會長に

なほ役員は左の通りである は堂々たる斎謄をあげ、使命 達成に邁進することになつた

「パリ甘九日發國通」フランス鳥人ジョルベル・ドニー氏は廿九日午後六時十分愛機コードロン・シムーンを操縦してパリを出設、巴里=サイゴーでパリを出設、巴里=サイゴーの関記鉄飛行の射途にのぼつ

同六時五十分出資バグダソド 大ドニー機は卅日午前四時廿 五分アテネに安膚、給油の後 五分アテネに安膚、給油の後

日向後都人引

商工業者と懇談北支經濟視察團

西買間記録飛行

100

(日曜火)

犯協會發足

館堂で盛大な發會式

舍代 官舍社 定官 完

宅 宅官

二人三人 八〇九人

五四七人

八八七人 計

価普通なの及比較 居住状態の普通 常ならざるもの 常ならざるもの 常ならざるもの

二、寄

元五計

(借間)

二、001人 一、六一八人

查委員會中 いて去る三月一日よりめ去る二月廿二日住宅の實態を根本的に探究 が十二日住宅がの原因と住 間報告の示す

ロ三萬七千に比すると二・ 女子人で、今ち日本人は約九萬人で、今ち日本人は約九萬 現在の人口は卅八萬一千餘 目左の如く中間報告を 割)の調査を終了したの 京に於る俸給生活者住

- 百四十六人(新京に出産として官應、特殊に出産として官應、特殊に対態を調査中の

五倍强で今年一月より三月 五倍强で今年一月より三月 本でには日本人二千六百人 の大の満入が「本人、第一五千人 の家族部分が体為生活者と が、職員一萬五千人 の知道ない、大略高記 の場別集計数 に変配している。 のの強加を示してゐる、而し のの満入が官廳會記の、大 のの描述される、而し でには日本人二千六百人 のの知道、 の知道、 でには日本人二千六百人 のの知道、 でには日本人二千六百人 のの知道、 でには日本人二千六百人 のの知道、 でには日本人二千六百人 のの知道、 でには日本人二千六百人 の知道、 でには日本人二千六百人 の知道、 でには日本人二千六百人 の知道、 でには日本人二千六百人 の知道、 でには日本人二千六百人

在表によれば日本人職員九十八中官舎(社宅) を 五%)とかり、その他 作者のは五千四十人(四 大五島のは五千四十人(四 大五島のは五千四十人(四 であり、満人職員につい であ者が三四・四後者が 大五島のは五千四十人(五 であるが、一下宿 であるが、一下宿

がわかる 一二、体約生活者の居住状態 管含、社宅、代用官含、代 用社宅、自宅居住者を除き 代本で、調査集計によれば次表 の如く全人数に對し通常な に近い数を示して、約三割 に近い数を示して、約三割 に方でる居住状態にあるもの にがっては目下調査中)

と購着

滿人街情痴

れも國境警察隊に編入江省へ

至五月五日

粗

品

進呈

三日

間

割

烹

話③三〇九五

の無理心中

郵政局窓

口休業

(富眞は豫行) (-)

赤魔を斷乎排撃す

新京神<u></u> 此參拜

一行は一日午 一行は一日午 一行は一日午

全國の青

を以つて女は乳房を三ヶ所動け検證したが、小刀用の兇器以下係員は現場に急遽駈けつ

廣告

東正國民動員中央-

端的に説明、

獨逸

十分間全國百萬會

橋本本部長

放送

御用は電話。三三〇〇番へ

合服、 婦人着物 大安賣

(ルビ榮昌) 六一ノ一町舟入

新など出してゐる、大會動員 司令部では大會の萬金を期し 一日午前九時州分より大同公 同様な形式をもつて着都及び 日本のでは大會の萬金を期し 豫行に氣勢愈よ昂 行ふがこの場合は國防婦人會 東大會は東亞各民族青年代表の参加を得て二日午前九時半より諸行事が盛大に擧行されるがこの日新京市内各郵政局の窓口事務は水業、郵便のみの窓口事務は水業、郵便のみを前八時から午後三時まで取るがある。

0 00

神苑に於て厳粛には一日午前七時の

洗染組合研

音堂で研究 では一日午

四三、〇四八、二九八 三三九四七

大會の標語を大書したアーチ に宿舎をとり待機してゐる 大同大街の要所々々には動員、あぶ れ出た青年代表は各學校、寺 院に宿舎をとり待機してゐる 大同大街の要所々々には動員

もとで除圏旗入魂率戴授與式を受に時よりは大同匿場で協和青少年和義勇率公除及び協和青少年和義勇率公除及び協和青少年を、なほ常日晴れの場合は午た、なほ常日晴れの場合は午た、なほ常日晴れの場合は午か、なほ常日晴れの場合は午が

がは関旗大幟で満艦飾の大會 も出來上り周圍の大ビルギンも出來上り周圍の大ビルギン

場合は

四二六六人 五五一入 九 〇〇二一四四四一八二 一三五九七六九九八一七四 五三九八三二五四二〇四一 五〇三七三九〇七四一六六

一八七四六八四九九七二 三四七八〇四三八一七二 九八六三五二二一二七 三三七七七九〇九八六九 五一〇〇四九四四三〇四

傷病兵士

間

谷種競技

會開放

満洲體聯全國に通達

▲宣韶記念國民中央大會國族 入魂宏戴式 於入同公園 入魂宏戴式 於入同公園內 人同音樂大行進正午 《同音樂大行進正午 《同上武道大會 於大同公園內晉 學堂午後六時 學校

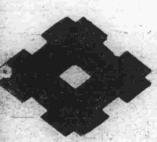
主日本にふさはしい

就青年學校 第四回開校記念

職さん達の慰問の意味で全満 病院で無聊をかこつ傷病の兵 動競技會をこれら傷病の兵隊 動競技會をこれら傷病の兵隊 近く神吉體育

本のでは、 、のでは、 本のでは、 をのでは、 本のでは、 をのでは、 本のでは、 をのでは、 本のでは、 本のでは、

初夏、婦人刊明



清新瀟洒 新絲に映ゆる初夏の

婦人子供服地新柄豐富品揃

婦人子供服夏の新型業會

柄に生地に新趣を盛つた本年 の優秀新柄を陳列して

新製裁縫用具 裁縫セツト、針箱、コテ台等實質 で優美なお裁縫道具一り取崩ひ

ル開始

優良セル

お仕立代半額奉仕 の紳士用品 寶石及げてもの 本阿爾先生刀劍鑑定會

十日まで

階婦人服

工公會 貨

九四五五③話電

音典 で以つて左記十四 で以つて左記十四

なほ首都本部では右調査に

(100.0%)

(元) 二大()

新線の砌り皆様方には益々御出 情にて日増に發展來る三日で一 は平素の御愛顧に酬ゆるため粗! は平素の御愛顧に酬ゆるため粗! 甲上げていますの料品を進呈致したのと深く感謝申上ばのと深く感謝申上ばのと深く感謝申上ばのと深く感謝申上ばのと深く感謝申上ばのと深く感謝申上ばのとこのとのという。 同申上げていまる事の出来 と事を御禮の出来

來ましげ出上げ つきまして 12 げ \$ すま 0 6 全條弊

主人敬白

正細型會館にまゆみと名乗る 魔人がある、彼女は經營者尾 輸氏の近親で箱入娘としで育 つてきたもの、ホールへ出す のところ尾崎氏頭を摘ませて ある▼春季嚢馬が三日目、 薬と戴馬場に現はれた赤玉の だから忽ちのうちに持金をす でしまつて泣きべそをかゝ にがりの時、凝つた最後の がので四百四十八園かそつく

大谷組「東遊記」は雨降り織たる場面を撮影、女事務員は、中事務員は、中事務員は、中事務員は、中事務員は、中事務員は、中事務員は、中事務員は、中事務員は、中事務員は、中事務員は、中事務員は、中事務員は、中事務員は、中事務員は、中事務員は、中事務員は、中事務員は、中事務員は、中本人のと云ふ事は公開される近点、大学の大学の大学に、これが終ってフラッケンシュタインのユニヴァッケンシュタインのユニヴァッケンシュタインのユニヴァッケンシュタインのユニヴァッケンシュタインのユニヴァッケンシュタインのユニヴァッケッシュタインのユニヴァッケッシュタインのユニヴァッケッシュタインのユニヴァッケッシュタインのユニヴァッケッシュタインのニージャッシュタインのニージャル社のある高千穂ビルの

400 管影

映上時同になめよ父

一全舉廿

映卷

項戴仕り候 らく街の人氣

る「寫真は高潮質とのなるお笑いの原は唯一つ」との原は唯一つ」とのなるお笑いの二本で質出の二本で質となるお笑いのは、源藤寅次 して左の如く さてるたな こっ人は「ウ

(日曜火)

遊むしだよ

御人

上日

す

厚水年

禮で間 申連待

げ超續 ま満け

員た

勇杉小

5

制養養に3年ことになった、出し 物は「金色夜叉」の確定で高 物は「金色夜叉」の確定で高 乗近ハリ 乗家より 乗るたる小

の土に 競店富

贾新越 対路線に対する場合ではある。

湯物產



珍優高瀨實乘 から 中に出級の豫定である フ N O 性・

ウト がした幸子クンはベルビンへ、 た幸子クンはベルビンへ、 た幸子クンはベルビンへ、 大き子クンはベルビンへ、 大にネオン街の人事異動は頻 の間にあつて銀パレス り変傷で動

思臣職」が登場する。 とと、 とと、 とと、 とと、 とは、 といる。 とい。 といる。 とい。 といる。 と、



●一白の人 細心の注意を拂 ひ和合を保もて進むが吉し 南と辛と癸が吉 は目上に見離さることあり 丁と辛と艮が吉



るサ日ヘサ サービスを行ひ和酒 ので一日より五 ので一日より五 ので一日より五 ので一日より五 ので一日より五 ので一日より五 ので一日より五

ぬ力 任

十一時迄

即通

一圓均一

七

脚色。陶山原作·長谷山 問 の庭に命 熱長色の こめた原作





町土富



日より

责子澄木鈴



淺之助の方

河野医院

「あの、貴方様は、字之吉さんと何時か、ご一緒に、お湯場で、お目にかゝつたお方さまでございますね」 旅役者の、淺之助が、おづおづと、かう、離をかけたのであつた。

柳間之助柳間之助

でして浅之助を見て、細でして浅之助を見て、細

むして、挟砂の仕

しい反射を見せてゐた。 をうけて白く、雪の中に、美 越後の山々が、午後の光り

学之が、突然江戸に行つて 来るといひ出したのはじつは 郎といふ博變打の家に出掛け て行くためであつたことが、 港之助の話で、彌三郎は、は じめて、知つた。 宇之が、何のために、獅三郎は、は

各地株式市况

意外といふよりも、腑に落ち、変之助の、からいふ話は、

吉堅甲一丁目 電話35977.5604.4208

に、斬られて、河の中に、投気の毒に、又五郎の身内の衆

変態なも

、安積達と湯壺で會つてのやうに思はれてゐたが、現實から離れた世界の

書

夜用

すると、漫之助は、「どうもれ、宇之寺さんは、お祭い最なことで」

であった。 であったし、この上、 であったし、この上、 が、非常で最後を送った。 とは信じようとし、 とは信じようとし、

天野子 入院在診透感

電業相談日 で必ずお報せ願い 電気休止の際は の願ひします。 の際は

所

親 戀 道 中

曲獨樂實演

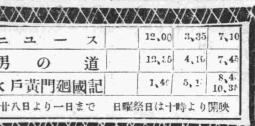
4,55

九八七六五現 月月月月月 ●月月月月月 ●月月月月月 ● 九八七 月月月月月 ●月月月月月 ● 月月月月 限限限限限物豆限限限限限制豆限限限限及限入大 大限限限

6、44 7、04 8、15 8、15 8、57

連!口 長彥座







Million Francisco Co



ス	-	12,80	4,02	7,2	
る。			4,34		
			4.54		
前時に	り開・八日	映毎月	日時間	棚房で	1

@電引

alt.	愛染かつら大會 11,00	2,00	5,10	10,10
7	ニュース	1,30	4, 30	7, 4
E	美人床	1,0	4,00	7,10

の道 12,60 3,07 6,14 10,20

1,03 4,10 7,18

2,1 5,20

1,25 4,31 7,40 圓

映画御楽内

舊四一六三③話電 路馬五南區西鐵天奉 店支

目科業營

新 是· 表 替 人 表 是 体

見玉疊商店

電話3二二九〇世

原京曜町三丁日十八番地

一報次第 カタログ贈呈

料材用道水●房煖 プンポ・罐汽・機汽 具工及械機作工

0

3

忍術道中記

源ゴクラク島 窓の召集兵 助長裸道中

න ජා ආ ආ ආ 御の日明 क कि कि कि कि कि



こ数びを合せて盛るメロ 人妻椿こ男の償ひの感激 ドラマの最高峰! क्षेत्र का का

豊樂劇

多多多多多多 B 8 8 8

電話 三二川川○○悉へ○

IJ 九台縣公署前

魚入坪場 類料數所 鮒、鯰、其の他 <u>Ti.</u> 五千五百杯 九台養魚 (五月より)

(電話六八番)

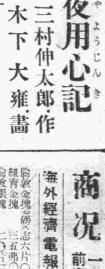
0 廣 告 0 御 用 命 キッコードンを油の姉妹品 11 清川野田<u>器</u>油株式會社



初日打込みから物度 と席が有りません お早くお出に成ら い人氣です 方特に お子様連れ 娘の願は唯一つ 0 h お



催開日近(産)店貨百山寳



海外經濟電報 塲日

電子四六五 企

皇帝陛下

しく日本皇室を御訪問遊二年四月、我皇帝陛下に

宣詔記念日に當つて

張國務總理謹

朝賀を御受 お月二日第四回目の訪日 宣詔記念日を御迎へ遊ばさる される皇帝陛下におかせ られては此日午前十一時 の衛任官以上五び日本側 関節任官以上三百名の朝賀 を御受け遊ばされるが、 終つて正午より清晏樓に 終の御儀あらせら

本を極めさせ給ひ、朝鮮の歌迎を極めさせ給ひ、朝鮮の歌迎を極めさせ給ひ、朝鮮の歌迎を極めさせ給ひ、朝鮮の歌迎を極めさせ給ひ、朝鮮の歌迎を極めさせ給ひ、朝鮮の歌迎を極めさせ給ひ、朝鮮の歌迎をしている。

大大学の | を致す、これ我 | を致す、これ我 | 本大学の | 國民の感激に勝 | 記すべきところにして永久に銘 | 三日訓民の人詔を御演競あら | とび | では、日本の人語を御演競あら | では、日本の人語を | では、日本の、日本の人語を | では、日本の人語を | では、日本の人語を

族各國の鞏固なる一體をなす。 一次時局に當り、更に重要性を 大時局に當り、更に重要性を して亞細亚の して亞細亚の して亞細亚の と して西細亚を中心と

古野 副總裁東上 古野 副總裁は事務連絡の 日午後六時五十分邊の

【頁二十刊夕朝紙本】

調 高田 監院 門病科 五

二二

7 公庫名土招待
フ公庫名土招待
フ公庫名土招待
日とは反對にナチスのドイッ
が働職線統一記念の祝日に當
ので、駐蔣ドイッ公使ワグ

司法部人事

敵を西北に壓迫中なりたる線より一齊に攻勢

強製性を主

伊は勿論英米民主々義諸が如何なる反響を示すか性を主張したことに對して、東京福軸の

海口、プラスでは、一番には、一番には、一日左の如くをでプラーがに徳領事に開発して、一番を加くを

開設 ラ

n

1=

公使館一等書記官 公使館一等書記官

忠

は獨伊は勿論英半月二の河相外務省情報部長の挨拶及び談話の形式を以てヒトラの河相外務省情報部長の挨拶

あがき

所謂蔣介石四月攻勢を準備せ、一匹匹迫中に一旦の一日登園通り一日午後一日午後

敵の死

體千五

百

獨洪會談好

兩國關

丽係

段ご强化

江南の惨敗

新遊陽地方法院大長 兼區法院監督審判官 無監檢察廳檢察官 華本天區檢察廳檢察官 華本天區檢察廳 一時 田 昇 平

第一 次

六日 日 月 土 日 月 土 日 月 土 日 月 土 日 月 土 日 月 土 日 東 州 競 馬 番 3 三 A ∧ 四番

(同)同

中央

▲神野政勝氏(會祉員)同 ▲木村長太氏(同)同 ●高瀬保氏(日滿商事社員)同

で防共協定の强化に應する用 意ある旨を披瀝したものとし で防共協定の異化に應する用 | 石田武彦氏(奉天商工公會) | 石田武彦氏(本天商工公會) | 同郷留幸夫氏(同)同郷留幸夫氏(同)同柳縣民平氏(建築請負)同伊縣市氏(土木請負)同伊縣市氏(土木請負)同

本の教育の振はない 本の教育の振はない は大いに考へねば 近來教育學がだん (進んで來で教 育學者の數は漸次 対演の振はない大きな原 といふ人がある▼こ 大いに考へねばならぬこ あるといふ人がある▼こ 大いに考へねばならぬこ あるといふ人がある▼こ 大いに考へねばならぬこ あるといふもの数は増し 所謂體育學者の數は増し

【北京一日愛國通】去る二月 上た三次に亘る屬州大空襲に より徹底的大打撃を受けた支 機購入により再建に狂奔する 表への進攻を目論みついある を企圖し昆明に於て日本空襲に 上下の防備强化、軍事占領地 を企配して空軍四月攻勢 を企配して空軍四月攻勢 を企配して空軍四月攻勢 を企るといもに西北赤色ル ートの防備强化、軍事占領地 であつたが、それ であつたが、それ であつたが、それ であつたが、それ 南鄭猛爆に完全破碎

如き意見の一 首脳間におい

一致をみたといは、ハンガリー兩國

ト 蔵々業園を加き意見の変換

および原田威大軍曹機は群る しつ1最後まで戦ひぬき自機 に各十數發の敵彈を受けたが に各十數發の敵彈を受けたが がなほも奮戦中遂に弾薬誌き各

江岸の華と散つた 頭部に銃弾

【上海一日發國通】重慶政府の指令に基き上海市黨部の指 簿下に民衆の抗戰熱を煽るため組織された上海市各界國民 め組織された上海市各界國民 が発維持に重大障碍ある實情 治安維持に重大障碍ある實情 三浦總領事の名をもつて共同 祖界フランクリン市参事會議

(日曜火)

一、國民精神總動員運動の禁止 三、國民精神總動員運動に關一、上海市國民精神總動員協

ス總務局長の名をもつて一日 ス總務局長の名をもつて一日 東場場の禁止 の 新聞視載禁止及び指令を 原場場の禁止 の四點を斷乎申入れたが、右 の四點を斷乎申入れたが、右 に對し工部局側はフイリップ

に當り、我國民一人一人益々 聖旨を奉體して選ふとこ 多なく、不朽の典談としてこ を子々孫々に傳へ以て聖旨 在記の針路を邁進して選ふとこ を子々孫々に傳へ以て聖旨 を記して選ぶとこ を子々孫々に傳へ以て聖旨

總統演

してみる必要があるとしないか▼これもか

説に於て全世界の前に堂々べ

0

見解

洲國政府

の一見るに

開係は東

東亜新秩序建設

六同租界工部局平五月一日

星野總務

長官談

安那紙はメー

明り立て、をり である である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。

ときに始めてこれを達成する 、 我等は進んで我等の所を知る、 、 我等は進んで我等の所を知る、 をところを知り、我等の所を知る、 をところを知らさればならぬ。 をところを知らればならぬ。 で、民族の成否は重細亜全族の の大業の成否は重細亜全族の、 である、こ を表の成否は重細亜全族の、 である、こ

(東京関通) 河相外務省情報 部長は廿九日神田 東館に開 かれた訪日ドイツ新聞使節圏 世八日のヒトラー總統の大演 説に對するわが方の見解を期 かにしたが、一日午前さらに これを敷析して左の如き趣旨 河相外務情報部長談 電場 新知英東西に設し、 東西に設し、 東西に認し、 東面に。 東面に

我が見解明示 高くより探い意義と使命をもであるが體育といふものは一つの科學 であるが體育といふものは一つの科學 であるが體育といふものは人 であるが體育といふものは人 學問、一つの科學でう▼體育學といふの 50

アが現下の微妙な國際關係に以て迎へ、右日本のセッ 親すべきである、而して右談端的に表現したものとして重 福軸の履行者である點を明の立場を握る日本が依然防 る東亜新事態に處する根破したのは日本がその抱 履行者である點を明か へ、右日本のゼスチュの如く頗る滿足の意を る滿洲國政府筋の り手を退くべき
足質し然らざ 外務幹令 (東京國通)

▲花田惠伍氏(會社員)中本島居譲治氏(會社員)中本京・マトホテル(同)同本川忠文郎氏(同)同本島居譲治氏(會社員)一

白五月 至五月五日 酒 進呈間 H



别

U

店

れを認め且つ誇り得るところらがけふの記念日に當つてこらがけふの記念日に當つてこかれないで、意よ緊密さを 加へ來つてゐる事質は、

れらはそのそれぞれの分野に関に要請してゐる。 東亜並びに世界の情感に、まさにかかる協

(ローマ州日發國通)ドインツチ將軍は卅日午前キリナーツチ將軍は卅日午前キリナーニ首・ネチャ宮にムソリーニ首・オテヤ宮にムソリーニ首・オテヤ宮にムソリーニ首・オラッヒッチー

福伊軍事會議の推移に重大協 の他イタリー陸軍最高幹部と の他イタリー陸軍最高幹部と の他イタリー陸軍最高幹部と

伊がイダ氏論説

マ廿九日發國通」

社

說

不除外に同意

日護・國際、 田護めて深き富養を有する宣 に扱いては國民動員中央大會 が盛大に擧行される。この大 會はこの意義深い日を記念す るのに最も適合した催しであ ると言へよう。殊にこの大會 に、日本、北支、中支、蒙霊 いらも多数代表の參加を迎へ がとするところでなくてはな びとするところでなくてはな

滿兩國の關係が、 經濟に於いて、

「バリ州日္ 関通」ソヴイエ 上政府は現在折衝中の英ツ相 互援助協定の適用範圍に極東 も包含するやう要求してゐる といはれたが卅日のジュルナール紙はロンドンでは英國政府が右の要求を頑强に拒否した結果ソ聯側も遂にこれを撤回した旨次の如く報じてゐる 兩國間に交渉

の英ッ援助協定に關し、 職に入れるやう要求したが 要國政府の資强な反對に発 支國政府の資强な反對に発 を寄せ来つたと傳へられ を寄せ来つたと傳へられ

倫敦タイムス報道 ン卅日發國通』ロ 紙は廿九日

軍事會議

れ回諒逢が範疇 社説で大の如く述べてゐる サイスキー駐英ソ聯大使は サイスキー駐英ソ聯大使は サイスキー駐英ソ聯大使は をなしたがソ聯政府は遂に をなしたがソ聯政府は遂に をないしたと降外 することに同意したと確開

聯海軍首

政府の態度を示して左の如く 上においてガイダ主線の論説 幅的に支持を與へるイタリー 腦部更迭

に主なるものとう! は登職行したが州日これに 具送を断行したが州日これに 黒海艦隊司令官

に國民の

すってエト政府は十八日り聯海
 軍人民委員部官脳部の更迭を
 を供命した、同時に次長四名
 を決定その旨發表した、新次
 その額觸は左の通り
 イサコフ提督(留任)、イガナチーフ提督(留任)、イナエンコ提督(留任)、イルチテリクを懸請司令官レフリノフスキー前海軍
 しフリノフスキー前海軍
 して、明である。

【サンフランシスコ州日發國 運】天長の佳節を期して行は 地が出力日サンフランシスコ は関連日本デーは博覧會開會 は大いととした、 は大いととした。

移りカトラー博覧會長司會ので儀仗兵閥兵、三時より式に て聯邦館前廣場に到着、そこ軍一個中歐の儀仗兵に護られ 中を掘内大使が来場、米國陸午後二時四十九發の禮砲轟く

でなして會場でなり、一次の日本部隊出来のた御殿山

英政府に回答 日午後二時國務院會議室に開第廿一次定例國務院會議は一 任太平洋艦隊軍事ソヴイエト (表)

空前の大盛況

桑港博の日本デ

最後に天皇陛下の萬歳を三唱 有田外相、オルソン・カリフ 有田外相、オルソン・カリフ オルニア州知事等の祝辭朗讀

練り歩き沿道は身動き出来の はど見物の山を築き、殊に日本館附近は踏み殺されさらな 、行はれたが、山車には電氣が と光彩を放ち、日本ディの服 と光彩を放ち、日本ディの服 北めの盛況 實塚振袖使 ニューヨーク萬國博覽會は初 念日をトして卅日午前十一時 華やかに開幕した、ルーズヴ エルト大航領の開幕演説は午 後一時半から行はれ會場一番 乗りを競つて押しかけた観衆 は卅萬、日本館では萬國博日 本代表若杉總領事以下協營會 本代表若杉總領事以下協營會 名が参集して午前十一時開展 未塗りの欄干をめぐらした日 本館は早くも全觀衆の人気を

であった

(ニューヨーク 紐有萬博開幕 州日發國通

際高の進展に伴ふ諸機構の ・ と共に定員を増加するため統計官を を上し技佐、技士の新設を行ふ と共に定員を増加するの要あ るによる ・ 一連備金数出・伴 一連備金数出・伴 一連備金数出・伴 一連備をもしたりるい を表支出の要あるによる

ヤフリス

長官官

東京國通 大陸で青少年少東 亜 善 隣婦人

本を見て歸りたい」と希望を 少憩後宮城を遙拜、正午燨道 少部後宮城を遙拜、正午燨道

グラム ― 杵尾 政夫 日本外交の理念 津久井龍雄新生支那の建設プロ

の人口問題

上田貞次郎

重慶政府の崩扰戰體制一大田宇之助再檢討聯盟の崩壞と世界法廷一田岡良一十ショナ

ヨナリズムの

----五十嵐豐作

東京生計費指數

他況左の如し (東京國通) 内閣統計局發表

碧

北支文化人日本 北支文化人日本
現祭園東京着
「東京國通」國際観光局招待の北支文化人士日本観察園の
一行十四名は一日午前七時十分東京驟漕、観光局宮部事務
官其の他の出迎へを受けて入
京した、驛頭で圏長格の臨時
政府教育部文化局計費科長場

3

或

士魂商才五

士魂商才五代友厚…… オタリアの文化政策展望……中村恒夫 天 引 貯 金 論 草田時雄 **着土**恒夫

対単新の



加市 俗·石黑敬七俗·石黑敬七 村田 藤川 論月評 評の論人 完房抬枝 卓耕 傳市嶋春城 一造 ★一旋盤工の生活 (震闘戦生)生 田 修 ピネ 銃後のモラル
杉山平断 野球心理學鷹門 北越寫生行(姓) 静脚 同 松方幸次郎、今井登志喜 体資本主義。暗號 の生活の生活の生活の生活の生活の生活の生活の経験を変換したまで、一旦の生活の対象を変換したまで、一旦の生活の対象を変換した。 の姿。宮室亭 口板西利八郎 安田德太郎

羽车眼科 祝町 電三四二五五 三丁里之

えを採用 買求めに應

Ei

動のために干戈未だ熄まず、とに頑迷なる一部抗日陣の蠢とに頑迷なる一部抗日陣の蠢

奥・亞院華中連絡部長官、原田長その他各部長、日本側津田

中連絡部長官の祝敬 を上で、一下の下に民衆は空のとして起り今や東西のと上活、企会で、一下の下に民衆は空のと、一下の下に民衆は空のと、一下の事を見る。 を上述、企会で、一下の事で、一下に、一下の事で、一下の事で、一下の事で、一下に、一下の事で、一下に、一下の事で、一下に、一下の事で、一下に、一下の事で、一下に、一下に、一下に、一下に、一下に、一下の事で、「で、「で、」の、「で、「で、「で、」の、「で、「で、「で、」の、「で、「で、「で、」の、「で、「で、」の、「で、「で、「で、「で、「で、「で、「で、「で、」の、「で、「で、「で、「で、「で、「で、「で、「で、「で、「で、「で、」」の、「で、「で、「で、「で、「で、「で、「で、」の、「で、「で、「で、「で、「で、「で、」の、「で、「で、「で、「で、」」の、「で、「で、「で、「で、」の、「で、「で、」の、「で、「で、」で、「で、「で、「で、」で、「で、」で、「で、「で、「で、」で、「で、「で、「で、「で、」で、「で、「で、」で、「で、「で、「で、」で、「で、」で、「で、」で、「で、「で、「で、」で、「で、」、

部長官祝解

A

4

正式成立の運び

上海で創立總會

3 8

一、七間条ははい終十七セン・一、一間条ははい終十七セン

つたものであるが、将来蔣政 あり、民衆に馴れ易く親しみ あり、民衆に馴れ易く親しみ 感に みんけい かんこう ても遠に

創作

我等かく戦はん阿部四二

座軍

★米製政策への一石★・

重慶

日記に

生

命の

燃

燒…山田清三

上 新…三并家小

蔣介石顧問ドナ

五月號

荒事

· 磯新拓相論 层雄

(俳句)眉 固 し

関と関われて

臨汾附近の愛護村鐵道警備に出發す

任關東局事務官、

叙高等官三

關東局屬無關東局警部 和田正一郎 任關東事實局理事官兼關東局 理事官

補

和田正一郎 鐵川久太郎

嬴

安課長兼務

(休職吉林市副

關東州市制改正に伴ふ人事異動は五月一日附左の如く正式 数令された 開東局市長、叙高等官二等 (奉天省次長) 別宮 秀夫 任關東局市長、叙高等官二等 日開東局市長、教高等官二等 日開東局市長、教高等官二等

依 願 東 局 市 長

別宮 秀夫

財課長心得 義 人

斯課長兼財

田中

稔

| 大橋 | 將實 | 大橋 | 將實 |

事賣局業務課長を命ず 周田正一郎 加藤 選平

開東專賣局理事官 人保 彌吉

關東州

改正

人事異動

發令(附)

H

河 合 務

本のする。 一 大連市學務課長を命ず 一 大連市學務課長を命ず 関東局理事官 北角 義作 関東局土木課長を命ず 関東局土木課長を命ず 関東局土木課長を命ず 関東局土木課長を命ず 関東局土木課長を命ず 関東局土木課長を命ず 関東局土木課長を命ず 関東局土木 技師 反

【上海一日愛國通)愈々本日 をもつて創立を見た華興祭の主 銀行の愛行すべき華興祭の主 銀行の愛行すべき華興祭の主 なる特質は 一、一志二片ベーシスの日本 一、一志二片ベーシスの日本 一、一志二片ベーシスの日本 一、十二本の日本 一、一志二片ベーシスの日本 一、十二本の日本

ける價値水 ・シスの日本 ・シスの日本

富澤有爲男 忠小 臣勝歳り 話…矢田掃雲

早大のた な要に開始されたが、この日早大のた 力な響に対して藤田(珠)、角田、坪井 で立数とり神宮球場にため なで立数とが、角田、坪井 なで立数とが、一口で戦 ののた。 をで立数とが、一口で戦 ののた。 ののた。 ののは、 の

鹿士 池狂鶴若生 先九榮金

場において行はれたが、独 昭和製鋼對新京俱樂部野科 昭和製鋼對新京俱樂部野科 日本経典的時半より被由 日本経典的

慶庸 第二回戦 一大、由谷の投手戦となり 下に慶應分の投手戦となり 下に慶應分り天知(球)西氏 下に慶應分り天知(球)西 下に慶應分り天知(球)西 大、由谷の投手戦となり 大、由谷の投手戦となり 大、自谷の投手戦となり

大阪國通 綿工聯調查=四綿布輸出高續增

紫州割當近く決定せ

七、義務 卒業後は満洲國技 術協會の指定する國内工場 同協會では率天に技術工務 成所、哈爾濱に技術直養成所 設置を計畫中である 設置を計畫中である

| 「大塚の「漫響な日曜日」を これとて何時までも歩いては 医学への尤もな話だと後で同 樂機關施設がないため勢ひ若 感する。現在の新京は名こそ 人特に新京に多い獨身者を芳 優等への尤もな話だと後で同 樂機關施設がないため勢ひ若 はお鬼しい限りだ。殊に金の の歌樂街に於けるカッフエー はお鬼しい限りだ。殊に金の の歌樂街に於けるカッフエー よ なら相當廣面積とはあるが、 刻に反比例して繁昌する豪華 体 なら相當廣面積とはあるが、 刻に反比例して繁昌する豪華 体 なら相當廣面積とはあるが、 刻に反比例して繁昌する豪華 体

之に高尚な文化的娯樂施設の(〜其の根本原因を探究し、

武、3 宿禰、4 妙妙 山、3 宿禰、4 妙妙 山、3 宿禰、4 妙妙

需 强化は必至 應

社代表参集懇談協議を遂げ現 地側との意見一致を見左の如 地側との意見一致を見左の如

りの高配當

第四日盛况更に續

WW nn 1412

四 %の失々著增を示してゐる ・ 三・七%金額に於て一一・六 三・七%金額に於て一一・六 新京國立義馬春季第一次レースの第四日目は日曜競馬の後で別り平日新に見る入場人員となつて今日も頗る盛況、レースはまた白熟職を展開春競馬に滿つ競馬ファンを熟狂さして暮となつた

富日の高額配當のあとを見る と午前中は穴と思はれるものなく平凡に終り、ボッボッフ マンの詰めかける書過ぎの第 四レースに公武の本命に單配 一六圓五十銭、第九レースに立るである 社年の力量を發揮して遺配程の八十五 十六圓三十銭、第九レースに諏訪 十六圓三十銭、第九レースに諏訪 十六圓三十銭、第九レースに諏訪 十六圓三十銭、第九レースに諏訪 十六圓三十銭、第九レースに諏訪 十六圓三十銭、第一と一名に諏訪

大大学 (1) 大学 (1)

3 一四〇圓八〇、外四四圓 一四〇圓八〇、北彩票1九八 一〇圓八〇、北彩票1九八 一〇圓八〇、北彩票1九八 3 二八一圓六〇、北彩票1九八 3 二八一圓六〇、3 二八一圓六〇、3 二八一圓六〇、3 二八一圓六〇、4 日生、

商况

◆大連株式 (短期) 大連株式 (短期)

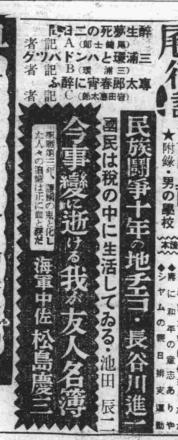
|競馬 (11、1100米 育

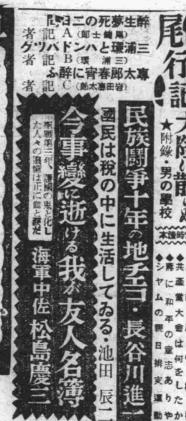
る事川正子の

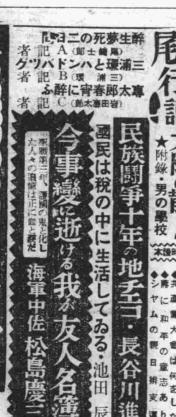
引市况

野形交換

本日ンタモ









古



田



電話②二五九六番

奉天市大和區浪速通三十二番地 奉天支工廠 田紙器印刷

種印刷ご折疊紙函製造 色板紙在庫品豐富

各



端午の節句が近づいる

建國にち

なむ

承知の

てスフ入り、或は人絹ですが、近頃は金巾が統細のように鯉幟を盛んに立のように鯉幟を盛んに立

離して了つ

られた手拭にも温泉氣分をためること夥しく、欄間に掛ける。 とりしく、欄間に掛ける。

(イ) (イ) 歌劇「オルフエオ」 (イ) 歌劇「オルフエオ」

相

銅鑼の低い、そして胸を

端午節句飾

建國祭本部のお話

は参り

か、何かしらこの金で 、或は天候が思はしく 、或は天候が思はしく は、旅費が不充分であ は、旅費が不充分であ

殺されるので、割合に無事な理、裁縫その他の稽古事に始める嫁入り前の準備として料

業した一人の婦人があると假

例へばここに女學校を卒

とから起るも

ふべきもので、仕事

し、今はなすべきこととの一穏であるが、總ての仕座

ゆる角度からこの新興都市を一色に譲潰されてゐる、あらってミナト神戸は飽迄も明朗

を 親許を去つて幾千里の旅をす っ るか解らない故郷の山や川、 の で で も、まるで は るのかと思ふと、亦何時會へ

の香高い潮風が甲板の上を吹めて至つて長陽である、漁村圏む丘陵に丁度櫻の花が唉詰

_ 六六 人□·····□

大三ハ

大三八(なり)のでは、

朝

の様な

感じた、愛媛縣と云へば、一帶情詩に富める町だなー

ふ

の番組

二 日(火曜日) 新京 放送局、

| 頂舞曲シトロンの 圓舞ダニューブ河

「子規」を思ひ出す、都會

町と農村の間をゆくこの高濱七時頃高濱港に橫付けられた

が程よい嶋が點在してゐる、

被に一層心を掻むしられた、が起り、そして舷側に寄する

た。よく雨に呪はれ、こち、 前中の薄曇は遂に小雨となっ

ことが確められた、まづわれってもに内臓筋肉の緑纖である

象なども、

なども、初めは子宮が移た、例のヒステリー頭の

つ、近代特有のヒステリーが態を、即ちヒステリーの症状

加茂のせ

比叡の松

だいます。 だいではれた岸壁に、龍宮の様 ではれた岸壁に、龍宮の様

二時近く船體は高松港に寄港

の如き繪卷を遠く今に映す屋してゐた、おゝ源平合戰の花

明すた、『これを選く今に映す屋島が夜目にも著く眼前に横は

新京商業旅行通信

[a]

自由行動と言つても左程行く で御座います―と淀みなく流れる案内瘻の摩もなつかしげ に聞く宿、に歸つて自由行動

かよ立つ様だが至つてした、正午坊立つて見えた、正午坊立つて見えた、正午坊立つになっと考へれば贈りたなーと考へれば贈りたなーと考へれば贈りたなーと考へれば贈る兵の緋色が他の乗

斯様な温泉地が散在して

のである、この不安な心の妖づついて、決定なし得ないも

てゐる病氣と、

柄であることに氣がつく、元

初めは(子宮)

左にすべきか、いつ

と、仲々に複雑に難解な疾

は は ようとする は は 中止する と 断行するか、或は中止する と な頭腦の所有者ならば、旅行 を 断行するか、或は中止する

して何處からも申込がないとかれば幸ひであるが、不幸にな場合に、もし一つて、こんな場合に、もし一つ

ヒステリ

どうしたら癒るか

は先づ層圏からの注意で避け られるが、中年の有閑夫人に せで、自分は何にもずること がなく、おまけに主人は無糖

庭



豆

質があつたりする そ手につけ 體の置き所に困るとこ 亂暴を 人に浮氣の

は郷土藤術とし と はなかつた、特細 はなかつた、竹細

奇唱部放送

【後七。三〇〕

即ち所在 は、自分の を副へる、血の池地獄――血を洗つた様な赤い泥土、濃々と立籠める凄蒼な―常夜國の 地獄――とは ス四台に分乗、右に別府灣 も一役買つて春に景 るるこ て善く

至る處に顧客をまつて**ゐ**て斷 るだけでも骨が折れた、傷痍 の勇士の傷を養ふ分院が風光 の勇士の傷を養ふ分院が風光 高もの、湯の花といふ妙選が 虚で海水浴をやるのも趣向あ 條館の眼 洲でも る事は経 脚するのを覺え、細工のと生かして、細工のを生かして、細工の 上ばかりに我慢せ 動が出来ない、滿 水上飛行機が波 一、三〇(泰天)新日本音樂 一、春信幻熱樹 一、若荣(本仙) 尺八一部 江幡率山 四里地識山 村部曙豐 新部曙豐 村部『電響四 大二郡 田中昭山 大八二郡 田中昭山 村部『『

に思ひ込み の資格がないなどと自分勝手 の資格がないなどと自分勝手

事がなく、

様にふくれ

野に起る心配はない、適度の 常に開吸なく動いてゐれば絕 底内で一定の仕事をもつなり 成立、職業に就くなり、或は家

くのもなんのその、ぐ 意外に多い山岳重闘 楽外薬客が多い、

製団の資源野に満てり 見よ豐饒の土をこめて おュ満州讃へ我等の大沃土

ハレルヤ ヘンデル作曲

ハレルナイ 矢田部勁吉譯詞

全能の神統べたまふ

全部の神統べたまふハレルヤ 國となり以ときわにかわりあ 主なるわが神(

である。しかして此の粉末は締め研究の銀翔と、粘膜深遠性に富む研究の銀翔と、粘膜深遠性に富む

は内服薬、洗滌薬等とは全然本

二、〇〇宣記記念興亞國民動員中央大會實況=新京大同 員中央大會實況=新京大同 廣場會場より中継= 田中 アナウンサー 気象通報・ニュース 「解語」 (率天)演悉「解語」 (率天)演悉「解語」

ときはにかわりあらじ ときわにときわにかわりあら 主なる我が神ときわにかわ

主なる我がハレルヤ

出 生

は容易ならずとされてゐる。

は效力徹底せず、従つて淋疾の根本的全治或は深層に潜入してこゝを繁殖地帯とする。の潜布淋菌に對しては内服薬のみにてとの潜布淋菌は感染後、間もなく尿道粘膜の側管 內服藥にあらざる 獨自の殺菌 鑑

お、満洲

網代榮三作曲

件ビ指 合 ア 奏/揮 唱

急 性 慢

性

U. /22

治る 菜

言ふまでもなく値かに三人やなる試験管的乃至動物實験は 三人の云はばまぐれ當り的な 數年來臨床的に所謂無藥治淋 記録の大競表である。 效果を學げたところの實際的 を試みて百パーセントの治療 る…本書は即ち著者が實に十 短日月に一滴の塞も用ひず がら現代醫學の承認せねばな らぬ事實である。 根治するを得ないとは遺憾な は、急性は固より慢性病で 治か?否著者の新學説によ 荷くも學説たる以上は、

れ切賣ち忽版重・版再 療法や熱療法では到底とれを

實験『素病、特に慢性

◇杉田平十郎著 定價十二錢(送料共)

を防止するのである。

管及び深部に潜入しつ」ある優勝第早々の淋漓は勿論、粘膜の

普及版

日美で村下の礼食堂、安舎場設備: 太都ボテ 韓へ三か! 第3007 6007

和室 洋室 各室卓4 茶室、撞球場で 想ひ出のパレホ松山(発音を大きの) 是非御愛唱

流行歌 岡

Ŧi. Ti, 百 T. 八 梅の節句と、

ルと同じ精神をもつて、端午 ルと同じ精神をもつて、端午 ルと同じ精神をもつて、端午 | 約時代の今日一つ (異つ) 通なものがあると思ひます この菖蒲の飾 朝時代五月五日に御殿の南北で舞ぶ勇壮な舞樂、薬玉は王で舞ぶ勇壮な舞樂、薬玉は王

久米舞は神武天皇の御功徳を

邪氣を避け、不

供にも嬉ばれるのでとう

5

実へ出したのが鯉の形をした。 そこで らく石清水八幡の鯉のぼりの

誠に奇拔な意匠でもあり、これのではないでせらか、これ 連載漫画

日本やし

拔天作

ら大變結構と思はれます、先上げてみませり、これなれば かけるのも を意味もあつて、我兄の出世ところが町人は勿論階級差別が としくあつたので、武家の真似は絶對に許されませんでした、感し金にかけては母來る 町人でありましたから、何か 武家に對抗する威勢のよい外 造られますが、何らも風に破れられますが、石出来るだけ丈夫なものにいたして居ります、因にこの鯉機の由来で御座いますが、これは凡二百年位前からのもので、其の頃武家では一般や、吹流し等脹かに飾り曾つてあつた陣中の勇ましかつた気分や、先祖の武勳を讃へ

した心の現れから、我がにお見受けいたします、からにお見受けいたします、から

は、新しく調へる飾り物に、に初節句を控へてゐるお家で

づ正面には國旗を

さることでありませう、殊る床飾りに樂しい心使ひを

お配ひ

(間) にとが出来ません は足ばかりでなく墨丸も麻痺した様に感じますが、之は足ばかりでなく墨丸も麻痺して居ります、何回も臀節の影察を受けましたが、效果はなく薬を服みますと余計痺れ

步行途中に麻痺感ず る様に感じます、

山) (答) 様な状態を抜けて ・ことですが、只單なる疼痛 ことですが、只單なる疼痛 ・ことですが、只單なる疼痛 そしてこん

I, 110 一、 鳴 鳴 呼 飯 書:五四

九、三C(東京)、 九、三O(東京)、 一O、OO(東京)、 一O、二O講演 回鑿訓民詔書の御精神に 成て 統で 「都整務司長 植田賞太郎 はて、 一、四〇(東京)經濟市況
一、四〇(東京)經濟市況
一、四〇(東京)經濟市況
一、四〇(東京)時報
一、四〇(東京)時報
一、四〇(東京)時報
一、四〇(東・新)ニュース
一、四〇(齊々哈爾)琵琶
一、三〇(齊々哈爾)琵琶 (牡丹江) 詩吟 上田 旭友 東京無線

▲梅枝町四ノ四丸田保二郎長男吉保〈平二月二十五日~男吉保〈平二月二十五日~ 無要安大路六〇二宮武房雄二女恭子〈一月二十四日〉 女恭子〈一月二十四日〉 女恭子〈一月二十四日〉 本人書路四一〇號石田恭助二 身勝正〈一月二十五日〉 一十五日〉 一十五日〉

▲類水町六ノ入號ノー平部後の場所では、一月二十三日)の場所では、一月二十三日)のでは、一月二十三日)のでは、一月二十三日が、一月二十三日が、一月二十三日が、一月二十三日が、一月二十三日が、一月二十三日

▲金攤路陸軍代用官舍梶芳文

→實清胡同政府區代用官舍八十九號小口好則長男幾久(

いれたし。

淋疾適應症

死

を使用し、大きに中雪を使用 性、或は再類の患者には、最初

▶内服薬と併用すれば最も週想
▼一日一本或は二本使用のこと
▼使用法は頗る簡單にして安全 管を使用されたし。 整を使用されたし。

各地の隣店及びデペート購品都にあり。 ・ は代金引換にても直ちに最後す。 ・ (消金卸註文は送料不要。) (外に大量人、病院用あり) (外に大量人、病院用あり)

子 (二才) 二月三日 北軍用路太平街一號寺

田合資會社

電話日本橋(元〇・八十・記号

るから學説と らぬ。本書によつて發表さ 」は臨床實験の成果を基礎 たる著者の『無漢着淋の學説 して樹立され、 して之れより

得ない がピタりと一致せるものであ 新科學社發行

(収扱店)新京新立集

△入舟町四ノ一五藤井房代へ

説明書進足

發賣元

友

報山營田橋

製日

法 英

新講話。四百會

生ける人間像
「人物楽二郎「神聖家族」
「人物楽二郎「神聖家族」
「人が楽二郎「神聖家族」
「人が楽二郎「神聖家族」
「大般新協劇圏によって上演された脚本、上演に際しては相當これに改訂を加へたとのことである。
「一人の頭くなな性質を持つ女、待合に貰はれたがそこであて、芸聞する一人の女性、しかもその性質に似るである。には十つで表して来る、とである。と言ふべきであらう。
「何よりも場面構成の巧みさが、並々ならぬこの作者の住意た性格を見せてゐると言はう。それに、それぞれの人間にであらう。この不完全な、襲いところさへある人間を生きた性格を與へてゐるのである。注目すべき近来の收生さた性格を與へてゐるのである。注目すべき近来の收生さた性格を與へてゐるのである。注目すべき近来の收生さた性格を與へてゐるのである。注目すべき近来の收生さた性格を與へてゐるのである。にはけて来る、一般であらう。

パレエの發達に、パレエの發達に、振付

智樂の作曲を一つの藝術として行ひはじめバレエ・ダンサルでとして女を採用することを力 したのはルリイであります。これまで日本の歌舞伎とであります。これまで日本の歌舞伎とであります。ルイ十四世がのであります。ルイ十四世があります。ルイ十四世があります。

に依りますと、バレエにで初めて、これが須ひらした。一部の批評家はノした。一部の批評家はノルの創案によるバレエ・ションは彼以後少しも發めて、これが須ひらいある位です。ノヴエルに

になんと云つて記びたらいゝ になんと云つて記びたらいゝ になんと云つて記びたらいゝ になんと云つて記びたらいゝ

裏に近所に用達しに行き暗くなつても歸らないので俺ら暗さかずお母さん~~つて泣ききかずお母さん~~つて泣きをがら慕つたものだ……人にながら慕つたものだ……人にながら慕ったものだ……人にながらないと一その

ことに定めて居ります…… かなことに定めて居ります…… りなことがあつても決して悪い ぬようにして下ざい、人の話 によれば他國の人の病をウッ によれば他國の人の病をウッ によれば他國の人の病をウッ によれば他國の人の病をウッ によれば他國の人の病をウッ はなどになつて死ぬと申します

がなかった。私がまだ中學生 はの質だった、父親の死と事業 の質だった、父親の死と事業 をもりは、たもの、兄貴に対なかまで、一たのだった、兄貴に対なかまで、たちの、兄貴に対な喰って樹り間とで、たちの、兄貴に対な喰って樹り間とで、たちの、兄貴に対な喰って場り困らしたのだった、兄貴はかり味のしたのだった、兄貴はかり味のようらしたのだった、兄貴はかり味のようらしたのだった。兄貴はかり味のようない。

一持はこのように、 神はこのように、 が語るのを終って私は「ウー が語るのを終って私は「ウー が語るのを終って私は「ウー うな返事をした、其處を立ち 玄魔を出てお互に別れた。 かにウン私の生れたのは母親 のお腹の中からである。母は たづ私を腹の中からこの世の 中に出して異れたのだ。 かられば小さい際で母母 とップヤイて見た。二、三歩 いてウン私の生れたのは母親 のお腹の中からである。母は たづ私を腹の中からこの世の 中に出して異れたのだ、さら

その人である」と言つてゐま て振付技術を完業たらしめた 學校の學長に任ぜ

一曲のモテイヴを强調するや個々の姿勢と一種の夢幻とが

かった

万目頃だつた、一ヶ月の内はあ

仰々しく誇張のみ多い」と述 でなのでうに言つてゐます でれてゐるノヴェルはまた想 されてゐるノヴェルはまた想 されてゐるノヴェルはまた想 でながらディデロ等

B SUB CANC のはリョンであつて、 のはリョンであつて、 師とない

の上に落ちた、毎日整膳を作って僕の武蓮と健康を祈つてよれ以來僕が歸還してから滿洲 いで働くやうになつても前と同じやうに陰階と僕の健康につ

他らの母さんに小さい時に夕 されると、即答は出來ない箇條 / れると、即答は出來ない箇條 / れると、即答は出來ない箇條 / れると、即答は出來ない箇條 / れると、即答は出來ない箇條 / れると、即答は出來ない (日本) が はれると、即答は出來ない (日本) が はれると、即答は出來ない (日本) が はれると、即答は出來ない (日本) が はれると、「日本) が はいるとも左程に感じなっている。

かつた、母々つて云ふけれどす母戀しいとも左程に感じなす母戀しいとも左程に感じな

は、(舞踊に関する書簡── とか、(舞踊に関する書簡── とか、(舞踊に関する書簡── とが、の上演によるパレ とが、でイナスの化粧」「メ でキサとジエゾン」「ガラテ でキサとジエゾン」「ガラテ で、イヴチルの 変術に對する 了講 義 錄

梁得所の張

は五時には必ず起き

です。といふのはこゝに於て 始めて聯絡ある劇的想案が舞 たことを見るからであります。 アンリイ四世、ルイ十三世 及びルイ十四世はすべてバレエの愛好者で種々なバレエの 後を躬ら演じました。パレエ

をやつてるて、文章は書かなかったが、やかったが、やがて書き出した。 第一に世に問うた處女作は譯本『凱亞故事』であった、教章して必ずや貢献するであった。 後は『世界美術史柳』を書いた、そした。、香樂の方では『供影集』『中國の女響界にた。果然、彼はそれ、香樂の方では『無影集』『中國の女響界にた。 「得所隨筆」等を出した。 「得所隨筆」等を出した。 「得所隨筆」等を出した。 「明明』を書いた。 「明明』を言いた。 「明明』を言いた

であったがどうかは私は知らない。私はただ後の一人の女を強強に來てゐた。それは独立と一大変達を知ってゐた。それは独立と一大変達を知ってゐた。それは独立と一大変をも別かにしてか女は他の人ど愛を生じた。この二通の手紙を強いた。為のたりから上海を明かにし得所が生時に抱いた。あの小説の手紙をも別か得よう。同時に世代の佐、私は後の生活史の一頁をほが知り得よう。同時に世代の佐、私達は現かにし得る。彼の第二の時、彼は私で春報のは、私達は現かにとれた。私は他の生活史の一頁の原の事が生時に抱いた生活態のが出して、私達は現かは、私達は現かに、私達は現かに、私達は現かに、私達は現かに、私達は現かに、私達は現かに、私達は現かに、私は、本学の一頁の事が生時に抱いた生活態度、とした。

七 内 没れ」と 割いて本人音楽

50

本有三

ヴェルに於てパントマイムによる物語の展開する藝術は完 成の域に達し、特殊な心理的 態度の表現でないものは、す べて舞踊から排除されたので あります。ノヴェル(一七二 七一一八一〇)はドプレエの 市文廟街五覧を記し、本社長に就な

た名士各方面に多数版本會講義で編纂し成功者積田

うに組立てられねばならぬとを出張しました。舞豪面もとを出張しました。舞豪面もをの衣裳に意を擬さねばならぬと稱し、專ら適當な書家にが、場面の劇的効果について、彼の了解の下に道具立を設計しました。 を設計しました。 私達の時代に至つて、かれました。これは数百年 歴するやうに凡でが組織 歴するやうに凡でが組織 旅り添くも豪華を開ける

藝

消息

村長を引合ひ! ればこれでも うる時は二十零 か村長さんは出

は三つの確然たる段階があります。最初は宮廷にのみ行は上た。その頃では最も高貴な上た。その頃では最も高貴な上た。その頃では最も高貴な上で、カザリン・ド・ラ・レエ・ファーに出演するな機物は一バレエ・コミイク・ボレエ)この作者はバルタサースのました。これはオペラ及かました。これはオペラ及を機物は一バレエ・コミイク・ボレエンこの作者はバルタサースのました。これはオペラ及ウェンは、ロカーに、これはオペラ及をした。これはオペラ及をした。これはオペラ及をした。これはオペラ及

もお袋自り

運動

OCCION.

新婚。戰傷勇士夫妻の新家庭の體驗發表合

かららめしくなつて仕方の一番を聞いてゐると私は

女學講義錄

入會の紀好機 見下人會の最好機、最新 見下人會の最好機、最新 ま ち直賣發は友之 す 賣に

育安 兒産 作映画。上の風見草子の純情哀話 表彰が健康見の母が安産で育見の秘訣で 勇者で生活する記・吉屋 てデーダの質用手芸を作す

坂洋次郎 品料理 報告記

次郎氏で本多静六博士極続だった仲人夫婦の既 地

一春を救煙に捧いた若ら醫官小 き齋藤大使の秘密肉親愛涙話 正子さんの

は既に戦が

切着から、 がルーネーの の仕づれ、 でのれた。 でのれた。

家庭雑誌

界一流の

型進推新最機行飛

0

南京虫退治

かっ

5

卅八戶燒

釜山勞働者街の火事

ぎを演じたが駅辺は火元率方に

毒減毒 0 百資 萬本 圓金 代理店募集 (規定書郵送)

京 城 西 大 大 白 밂

化門(三四九〇三五九八番番番

私書凾{光 П

振替を利用せば關稅も送金料も不要 化門局第四 九五 大門局第四五號大門局第二號

滿洲代理店

會社 **東文** 社

商

安眠一刻

滅

臭がよ 滅する 南京虫八珍味 要なのは熟睡で 「八珍味」だけは全く理想的で奇妙に家中にありつたけの南京虫が忽ち全南京虫殺虫劑は幾百千と敷知れぬ程多いが皆一時的で全滅しないがこの南京虫八珍味と云ふ粉に依つて忽ち全滅する、それこそ世界的大發明だ は安心だ その ので全部出て來て た譯だ。物は試である果して全滅するか、 やうでは萬 な南京虫の時季が來た併し今年 物の靈長とは云へない我々共同の敵である南に南京虫に毎晩襲はれ熟睡出來ず極度に疲勞 一全滅しない場合は責任を負ふ。の耻辱である何と忌々しいこの毒虫を一刻も

全

す

3

D

0

致

極

0

この記事の通り南京虫は

名は出たる。現場の大き間の大が引火をした。現場の大が引火をした。

人に恐ろし

一、重蠅等湯い虫は粉を撒いただけでも即死する (一布三得) で、養虫力が永騰するため萬一生を緩つだものがあつても體につけて帰った粉の毒で果内の幼虫卵までも全滅する (一布三得) で、勝引力が强大なので南京虫が喜んで全部出て來る

「人畜 買 きものは危険につき (類似品 簇出)

虫「八珍味」「限る

速南京虫

價 四乗分 貳 園 大正銭 井工銭 六量分 参 歪

は 南

妨 2 害 眠 安 京 虫

振替奉天三五一九番

那須

電話 日三二五五番

新京東四條通八番地 商

直然各食堂にもあり 電話 目 五二三七番

新京八島通敷島女學校寄宿舎前入 電話母三二三七番

京東單大街 一九一

北

電話東三七 四一九九

旭 街 東 司

B

天

津

電話〇〇九一五番

大連本町(連鎖街) B 新 堂 局

電話 二二〇二番

満洲に於ける代理店特約店の申込は總代理店へ 満洲及北支各代理店にて小賣致します發送も致します 特約店募集(早いが勝)

6-61

市各所に大會氣勢を揚げる、
夜は全市大通りに設置された
夜は全市大通りに設置された
火さながら白書の如き不夜城
の中に午後六時からは見玉公の中に午後六時からは見玉公本
の中に午後六時からは見玉公本
の中に午後六時からは見玉公本
の中に午後六時からは見玉公本
の中に午後六時からは見玉公本
の中に午後六時からは見玉公本
の中に午後六時からは見玉公本
の中に午後六時からは見玉公本
の中に午後六時からは見まる、

チングのデコーレーシス語、表通りの各會社、

國吹奏樂園一行

進め、青年満洲 全世界に

り、 心にこれ等の熟と意氣と力は り驟 東亜各民族青年の體内に脈搏 ちるマ き團結を發揮するは今だ、五 で 月二日午後二時大同廣場を中 に至 月二日午後二時大同廣場を中 なるマ き風結を發揮するは今だ、五 ーガンと大同大街アーチの電 だれの屋上に掲げられたスロ でルの屋上に掲げられたスロ

大同廣場に

【寫真は入京後直ちに中央通補導部に到り旅裝を解いた が旅装を解いた。

ス運行路變更

寒談を遂げ午後四時散會した 関を中心に座談會を開催種々 第八次司法

日本觀光聯盟總

日から四日間新潟市に於て閉 定であるが、こ日本観光聯盟第三回總會は十 は五日新京發明

たので、聯盟で 洲觀光聯盟

三日から四日にかけ月食がある、初糖は三日午後十時十八分、方向は下偏左、食旣は十一時四十分、方向は上偏右、食甚は四日午前等時四十三分、左生光は午前等時四十三分、左上の間、復圓午前一時五十五分、右偏下である の月食

住協會の副會長就任を快諾、一線から退いた製紙工藤原銀一線から退いた製紙工藤原銀學設立を驚明して實業界の第學設立を驚明して實業界の第 藤原銀次郎氏

北文經濟視察團市行八名は一日午後三時治安市所院を訪れ、傷病兵に慰問の言葉を述べた上見舞金としの言葉を述べた上見舞金とし

主事 東加藤總局參事、各地觀光 聯盟代表細川新京觀光協會 主事 内地旅行中だつた編映製作部大泉東野満男氏は一日午後五次月東野満男氏は一日午後五次月東野満男氏は一日午後五の映畵界を退いた康子夫人は昭和七年に映畵界を設いた康子夫人は昭和七年に映畵界に入り、この間の日活京都作品「黒から家庭の主婦としていと思ひます。

から代表を派遣するのは今回 を以て職失とし極めて重要な る義意を持つものである、即 ち東亞新秩序建設の國策線に 沿つて研究されつムある日繭 支の観光ブロック結成の前提 として見られ一行の本大會出 をして見られが拍車を加へる ものと注目されてゐる、代表

人令息同伴歸京

清眼堂

清职堂

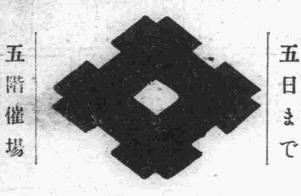
声眼堂

清眼堂

月人形三割引

一今に見てゐろ、

同君の



美先生

會

實石及び 0

五階ギャラリー

會計檢查院副檢查官岸本側太 を帶同して六日東京發十日當 を行ひ六月一日來京、二日か ら六日まで大使館、關東局、 り六日まで大使館、關東局、 り六日まで大使館、關東局、 のあも七日赴哈、 である 岸本副檢查官 大陸開拓民 は大いに期待されてあるで、同氏は目下藤田しては一身を顧るべき間とないと断然協會の出馬懇ないと断然協會の出馬懇ないと断然協會の出馬懇ないと断然協會の出馬懇ないとが、同氏は目下藤田では、一般の大きない。 誌代一部卅五錢 • ☆ 「一部卅五錢 • ☆ 號養療膜腹と核結

中央法衙分會では今次の司法協和會首和司法部分會および

法部門懇談會

一、會場 協和會中央本部講同五時迄

六日午後一時より

雪胃含先神戦自戦 の勝嗽づの争然を 日を漫治如と療を

精枝 生芸の册子申込 生芸の册子申込 生芸の別子申込出 の切託るく結末に の切託こことは の収・とけいて 出理工 寫:養自 眞諸蜂ら のの 次に ボ版 宇崎 大田 高第とス の右よ の方よ の方と のっと まるの高夏 話魂井井 ……雄淵 漫畵等家

高ド 111 3 價 y E

御一報秘密多上 何品を問はず た 電話③三六八七番 質に

日念記捷戰祝 新 9

PHOTO STUDIO

新 英 唐 乾 五三〇三〇章

協 水 入 拾 和 J

諸手

與亞鑛業事務所

地諸願屆手續一切秘密戰守迅速正確満洲國鑛業法に基く申出の出願登錄共

宫武二 目 町町番〇 業

清眼堂 軍川 卅五圓より二百圓 六 倍──十二点 五四 双 フリズム 固より 眼鏡 双眼鏡 四十圓 倍 日一個倍 EX 二九二三③電 町野吉京新

我等の叫

親善の任 務を喜ぶ 工獨代表入京

日間國務院講堂にて開催し
司法官會議を五月四日から三司法官會議を五月四日から三

| 大・官會議を機とし協和會全國司法部門懇談會を開催し出席の法部門懇談會を開催し出席の要により隔意なき意見の交換

から

國務院で開催

広官會議

一附け精悍な瞳を輝かし 質問に對して

施騰長及び最高檢察應 長および客員として最 総長、法院水長、檢察 が表でを員として最 が表でを員として最 が表でを があるでを がなるでを がなるでを がなるを がなるでを なるでを がなるでを がなでを がなでを がなを がなでを がなるでを がなでを がなでを

全満各地の視察を遂げ近く來に向ふが、約一ヶ月の豫定でに向ふが、約一ヶ月の豫定で を行ふことゝなつ・

、小般人民の訴訟手續等に 、小般人民の訴訟手續等に 、巡回調停制度の可否如何 不如何 一、巡回調停制度の可否如何 不如何

對日宣傳

班派遣決定

技術者よ

來れ

關係者及び學校卒

を迎へ座談會 が出来る三月廿三日大連に上

満洲各地の技術員動態

(日 曜 火)

四國地方、第 一班關東地方、第 一班關東地方、第 一班國地方、第

一名を以て各班

で催かに売いたづらに就上るのようなで、 を中心とした動きに多少ののおって、 を中心とした動きに多り、 を中心とした、郵政は昨年としたが、 でで変が、からしたが、 でで変が、 でであったが、 でのようなが、 でのようなが、 でのようなが、 でのようなが、 でのようなが、 でのようなが、 でのようなが、 であったが、 であったが、 のとした、 のとしたが、 のとしが、 のとしが、 のといが、 のといが

く進め

の有識指導

温ふ気の

西の風睛後繰り

最最高

度度四二

の決定を見たの程各宣傳分

を承る産業部對郵政局の試合 を不る産業部對郵政局の試合 第子小天龍こと藤原健之君が ・ 一 一 でまめくしく働く同 に包んでまめくしく働く同 に包んでまめくしく働く同 に包んでまめくしく働く同 に包んでまめくしく働く同 1 300 至つて温

設に大童とな

Ø の御用は電話③二四八二番を対信用の出來を店店 华年一 自 一個十錢 • 然 療

年四圓+錢 社

續交渉を代行す

海陸運送●市内署 **阊目圖公司**辦支店 引越荷造搬

茂

新京特別市祝町二丁目十番地新京特別市祝町二丁目十番地

0

再整点年四月三十日 一年の地に移轉し業務開始致し候間を左の地に移轉し業務開始致し候間を左の地に移轉し業務開始致し候間

マハー

嬉しがつてるな。

でそれが、われく 海員には 一でそれが、われく 海員には れえ君、海は廣い、だがら、 のとほる道はほんの狭いもの しかない、だから、僕らはや こを通るかぎり、いかなるも で、それが、社長のお娘の遊 が、それが、社長のお娘の遊 が、それが、社長のお娘の遊 は堂々と沈む……いゝかね。

「鮒馬志願者の大見君たね」

第吉の、麓は殿り飛ばすや かい?!

言それが、われり

5

し、相手に關はず、

靖

はいつかいゝ折をみて、詫び が、此處で毒を喰はゞと思ふ が、此處で毒を喰はゞと思ふ

よ。だいたい……君僕とお娘とどつちに理館があると思ふ

根務東京六八八五五零

を御出しあれ。

東京市總谷區上通四丁目四大龍館

・店にあります。
店は店、食料品

西路君、君、君は自暴くそ

その代り、針路を曲げて屈す

しばらく墜倒され

を入れやうと思つてたんだがはいつかい、折をみて、詫び

『そりや、君のはう

だとは思ふがい

一君のさ、

は大曜ひだり

ひませんで、びりょつと響いと云ひかけたとき、大見の

のがあつた。

ん、ちゃあんた、



808の外圓(一) 「來ましたせ、船長、」 「精吉が、わざと焦らすやう に、なか(一受話器を取りあ 入れてもらひたいもんだよ てはげしく笑ひはじめた 栗虫太郎 喜 果。

美

までなかく、これは僕が聴きまとにかく、これは僕が聴きまとにかく、これは僕が聴きまとにかく、これは僕が聴きまとにかく、これは僕が聴きまとにかく、これは僕が聴きまとにかく、これは僕が聴きまとにかく、これは僕が聴きまとにかく、これは僕が聴きまとにかく、これは僕が聴きまとにかく、これは僕が聴きまとにかく、これは僕が聴きまとにかく、これは僕が聴きまとにかく、これは僕が聴きまとにかく、これは僕が聴きまという。 な。』
「場のもとに追ひこめられたか は止むを得んし……、その、 は止むを得んし……、その、 は止むを得んし……、その、 僕らは、高級船員として、當

最後の場合として、懲戒もいたし方ない。』 際を低めて、 そつと、 大見は囁くやらに

第古は、胸に風を入れてゐた手を、ふいに止めてしまった、彼は、大兒の言葉を囓み切るやうに、頷いたのであるでさらか、だが君。陸と、河でさらか、だが君。陸と、河 『相手が悪いよ、なにも、世 渡りだし、我を張ることはな いと思ふね。』 だぜ、われ くの

てゐるやうな、笑ひをくつ 最初は、さも故意と噛み殺し

に聴かせた。

トのはらぢや暗

たべられるのが何よりだ御飯が旨しくてつひ多く



の酒とは全く艦騰の根本が異なってらとこ。 つてゐます。

貴重樂草の活性精分の作用で胃 停滞してゐる事でありまして、食物が胃腸内に消化されず永く たべた御飯は、もたれがありま やうになります、旨いと思つて 進め食べたものゝ消化吸收をグ 腸の内分泌を多くして、 せん。もたれと申すのはたべた 飯が美味しくて多くたべられる ングンよくしますので、つひ御 か ら食前に養命酒を 食慾を

まづ されより コレを

りますと、 のを威じ、暫らくすると、食慾が 一杯のむと、忽ち胃壁に沁亘るに食慾がない時でも、養命酒を ので、その皆様の御體験を承は 習慣の御家庭が多くなりました れつて苦く舌がザラ/ 劑の養命酒を一杯づゝ召し上る 朝起床した時口中が 三度三度の食事前 に、必ず滋養强壯 へして更 是が不眠症を起す唯一の障害で あります。 是が胃腸を悪くする原因であり そ

が美味しく進むと申されます。 させる目的で用ひられてゐるの 分を活性のま、保存させるため溶込んである高山貴重樂草の精 即ち可溶吸收性のまゝ含有 しても、酒は中に しま 益々よくなり、

(日曜火)

きて、たいへんお痛みださう 寒さんに、はうくく打身がで

打身がで

『君、西塔君、理窟ぢゃない

養

命

か。

あないんです

待つちゃくれん、たど、自然礁も避けちゃくれんし、風も

出て來るので、我れ知らず食事

で、たべた食物が

にも人間にも、攝理があるの

排泄されるやうになりますと 吸收され、排泄物が早く外部に て來るのであります。 つき、次第に身體は丈夫に肥つ たべたものが腸内で自家酸酵す に故障を起すことなく、 ることがありませんので、胃腸 胃腸内で早く消化 血が殖え、肉が 荣養は

(藥備常院病學大國帝各)

上海市密動路八號 大連市山縣通七番地大連市山縣通七番地 友吉商店

をお服ませ下さい。 をお服ませ下さい。 をお服ませ下さい。 澤

(近くの薬店にあり)

子供さんに





貸出 勉強流品大安売

::

一丁目(冒景ビル内) ③ 五五四九番



「南州堂で 電3五一三六歩

顏當



B1403

今辨慶整骨院 新京朝日通八十一電話③3338

保存に耐へ前の物分を加へ を取るため、かく であるため、かく 七割を占む はなつか

脱影・仕書

震流に

タイプ印書

智語3六四六四(朝日通り) 安東、無順、新京孟 白米各産地米 トラック E 依る 大和運輸公司 大和運輸公司 乗電物解袋の準備有 企 野瀬米店

Fンく衛申込下でい 口質の結婚媒介部 電三六

8

胚芽米

東210八五 日 画 合日 新京東三馬路 日 画 合日 電話金融 白金·金銀 高價買入 横濱屋質店 東二條通二十五番 電話 3 居士七四番

乳もみ専門

りが何物土建材料運搬 小地みやげ電話火能配達 小地みやげ電話火能配達 小中央通二十一 中央通二十一 トラックの御用は **另女數名** 電流力の人堂 五

刻あん

◎ 胃腸病

お

宋松接骨院 學與通醫察署前 火通り

ほれつざ

新京吉野町二丁目 を 学 茶 道 具は

お茶と

能病

特効藥安心散

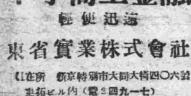
三友社 **数据3三四二四**

印刷及帳薄

敷正 ・ 原整 骨 院 ・ 原整 骨 院 ・ 原整 骨 院 周月



不用甲一





育剤タイプライター 規則書進星 規則書進星 节顿授 滿洲直賣所 200四四五二 午後、夜間 業

益



◇あんま特設

白癬

京徳川二丁目十八番地 市光堂療院 古光堂療院 電話及金融

灸

融即時・長期秘密 (別用の方は) 荻本電話店 新京入舟町 - ノニノニ

刻あんま 東二條通三九 時何ひ致します

社雲紫 逾 看 裝 板 號四九路經大京新 番三六一二(2)話電



相タイピスト養成

春物大見切 豊 質 店



電話賣買

話 電

三省堂製本所 帳簿專門 一笠町三ノー